

ARIBからの
お知らせ

情報通信月間「電波の日記念講演会」開催のお知らせ

近年の情報通信技術の発展により、移動体通信の高度化と放送のデジタル化が促進され、電波利用システムは社会経済活動及び国民生活において必要不可欠なインフラとなっています。

通信関係においては、第3世代移動通信システムやPHSの機能高度化も相俟って、携帯電話・公衆PHSの加入数が昨年10月末で1億加入を突破し、人口普及率は80%を超えるまでになりました。また、第4世代移動通信システムに対する世界的な周波数分配が昨年WRC-07において決定され、本年よりその具現化の取組みが進みます。放送関係におきましては、全国の都道府県において地上デジタルテレビジョン放送サービスが行われております。更に、我が国の地上デジタルテレビジョン放送方式(ISDB-T)の国際展開に関しましては、ブラジルにおいて、昨年12月2日に同方式を基礎とした放送が開始されました。

このような情勢を踏まえ、社団法人電波産業会及び情報通信月間推進協議会では総務省のご後援を得て(予定)、6月1日の電波の日を記念して情報通信月間参加行事「電波の日記念講演会」を下記のとおり開催いたします。講演会では「電波利用の現状と今後の展望」をテーマとして、総務省、電気通信事業者、放送事業者及び無線機器製造業者の各分野から講師をお迎えして、それぞれのお立場からのご講演を頂きます。ぜひ、ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

なお、プログラム、交通案内図は同封の案内状をご参照ください。

記

- 1 日時 平成20年6月11日(水) 13:10から16:00まで(開場 12:40)
- 2 場所 明治記念館「富士の間(1)」
東京都港区元赤坂2-2-23 TEL (03) 3403-1171
- 3 実施機関 主催社団法人電波産業会
情報通信月間推進協議会
後援総務省(予定)
- 4 講師 総務省 総合通信基盤局局长 寺崎明氏
株式会社テレビ朝日 取締役会長 広瀬道貞氏
日本電気株式会社 代表取締役執行役員社長矢野薫氏
KDDI株式会社 代表取締役社長兼会長 小野寺正氏

- 5 参加者 電波の利用者、電波に関連する産業界及び一般の方々 250名
- 6 参加費 無料（事前登録制）
- 7 申込先 ARIBホームページの「セミナー・講演会等の申込受付」から
- 8 問合せ先 社団法人電波産業会 企画国際部 佐藤（正）、木村
TEL (03) 5510-8592 E-mail denpanohi2008@arib.or.jp

電気通信・放送 行政の動き

「平成19年度電波の利用状況調査の調査結果」の公表及び
「平成19年度電波の利用状況調査の評価結果（案）」に対する意見の募集
（平成20年5月2日総務省報道発表）

総務省は、平成19年度電波の利用状況調査の調査結果を取りまとめましたので公表します。また、その結果を踏まえた電波の利用状況調査の評価結果（案）を作成しましたので、平成20年5月23日（金）までの間、国民の皆様から広く意見を募集します

なお、調査結果及び評価結果（案）の概要については

<http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/pdf/080502_1_bt.pdf>を参照してください。

1 調査の目的

電波の利用状況調査は、電波法（昭和25年法律第131号）第26条の2の規定に基づき、電波の有効利用に資する施策を総合的かつ計画的に推進するため、電波の利用状況の調査等に関する省令（平成14年総務省令第110号）に従い実施するものです。今回、770MHzを超え3.4GHz以下の周波数帯の無線局について電波の利用状況を把握するため、調査を行いました。

2 調査の概要

（1）調査対象

770MHzを超え3.4GHz以下の周波数帯で、平成19年3月1日現在で開設している国、地方公共団体及び民間が開設している無線局（※）

※ 対象無線局数(延べ数)：約19,275.4万局

（2）調査事項及び調査方法

電波の利用状況の調査等に関する省令第5条に定める調査事項及び調査方法

平成19年度実施の770MHzを超え3.4GHz以下の周波数の利用状況調査 評価結果の概要

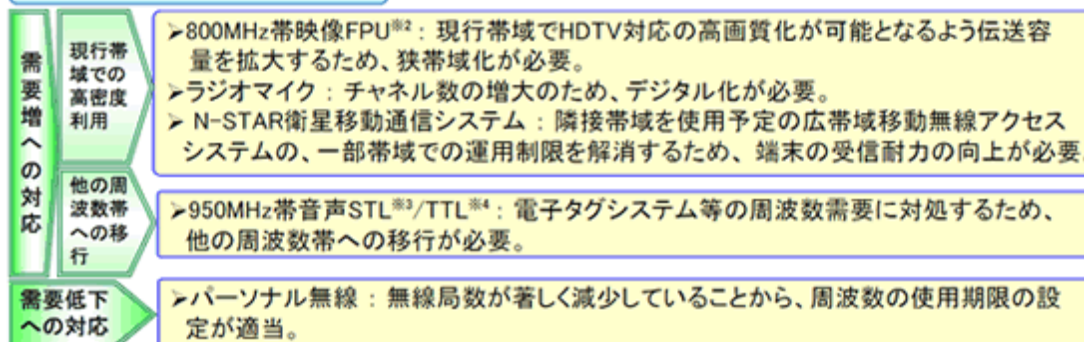
MTC

1 有効利用の状況

➢急増する第3世代移動通信システムの周波数需要に対処するため、800MHz帯及び1.5GHz帯において周波数移行等の有効利用方策が講じられている。また、国際的に第3世代移動通信システム用として特定された2GHz帯のうちの一部(TDD^{※1}バンド)について、導入することが適当なシステムの検討が行われている。

➢新たな技術の進展を踏まえ、ワイヤレスブロードバンドの実現やデジタル・ディバイドの解消に資する広帯域移動無線アクセスシステムについて、導入のための技術基準や手続が整備されている。

2. 新たな有効利用の必要性



※1 TDD(Time Division Duplex)：時分割複信
※2 FPU(Field Pick-up Unit)：取材現場と中継基地局等とを結び番組素材を伝送する移動無線回線
※3 STL(Studio to Transmitter Link)：放送局のスタジオと送信所を結び番組を伝送する固定無線回線
※4 TTL(Transmitter to Transmitter Link)：送信所と送信所を結び番組を伝送する固定無線回線

3 意見募集の対象

平成19年度電波の利用状況調査の評価結果（案）

4 意見提出期限

平成20年5月23日（金）17時必着（ただし、郵送については平成20年5月23日（金）付けの消印まで有効とします。）

5 意見公募要領

別紙<http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/pdf/080502_1_bs.pdf>のとおりです。

6 今後の予定

総務省は、意見募集の結果を踏まえ、平成19年度電波の利用状況調査の評価について、本年6月11日（水）開催予定の電波監理審議会に諮問する予定です。

詳細については<http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080502_1.html>を参照してください。

「我が国の国際競争力を強化するためのICT研究開発・標準化戦（案）」
に対する意見募集
（平成20年4月25日総務省報道発表）

情報通信審議会情報通信技術分科会研究開発・標準化戦略委員会（主査：酒井善則東京工業大学大学院理工学研究科教授）は、平成19年8月に設置されて以来、国際競争力を強化する観点から、研究開発、標準化に関する具体的推進方

策について審議を行って参りましたが、このたび、「我が国の国際競争力を強化するためのICT研究開発・標準化戦略（案）」をとりまとめました。

つきましては、ICT研究開発・標準化戦略（案）に関して広く国民の皆様から以下の要領で意見を募集いたします。

1 意見募集の対象

我が国の国際競争力を強化するためのICT研究開発・標準化戦略（案）

（<http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/pdf/080425_8_bs1.pdf>を参照）

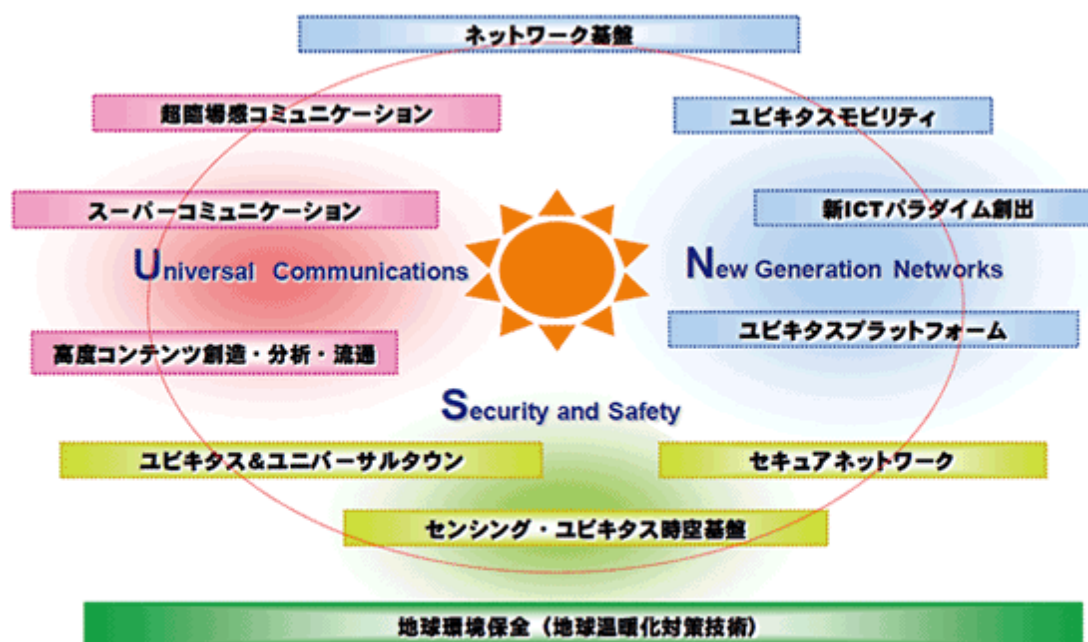
2 概要

近年、ICT機器の世界シェア等に見られるとおり、我が国の国際競争力が低下している状況を踏まえ、情報通信審議会においては、ICT分野において、我が国の国際競争力を強化する観点から、研究開発・標準化に関する具体的な推進方策について審議を行って参りました。

研究開発については、主に研究開発課題とその目標等を明確に設定した研究開発ロードマップを策定するとともに、重点的に推進すべき研究開発課題を抽出しました。

また、標準化については、我が国が重点的に国際標準化活動に取り組むべき技術分野に関するICT標準化戦略マップ及びICTパテントマップの策定方針、国際標準化活動に携わる人材の育成方法、さらには産学官の連携によりこれらの活動を統括するICT標準化・知財センターの設置等の国際標準化活動強化策をとりまとめました。

つきましては、ICT研究開発・標準化戦略（案）に関して広く国民の皆様から以下の要領で意見を募集いたします。



UNS 研究開発戦略プログラム II

3 意見募集の要領

詳細については、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/pdf/080425_8_bs2.pdf>の意見募集要領をご覧ください。

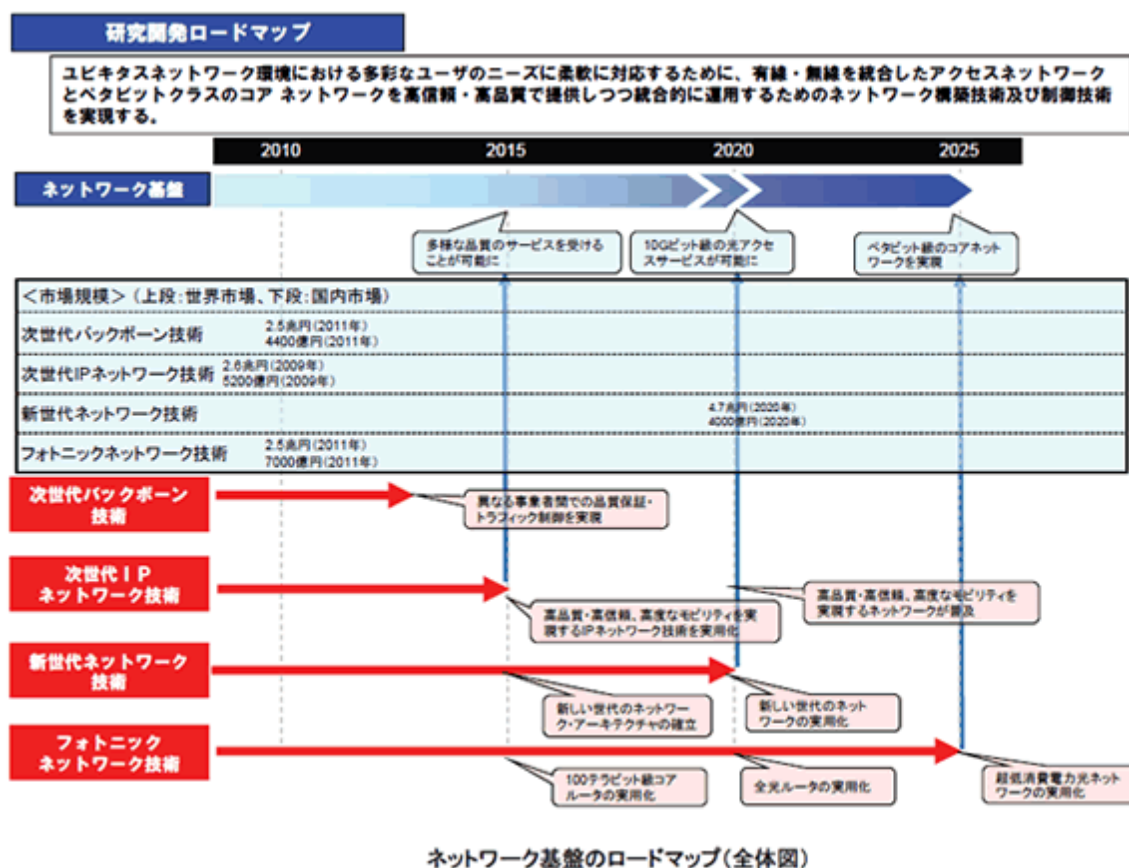
4 募集期限

平成20年5月26日（月）正午（必着）（郵送の場合も平成20年5月26日（月）必着とします。）

5 今後の予定

提出されたご意見を踏まえ、ICT研究開発・標準化戦略（案）をとりまとめた上で、平成20年6月中に情報通信審議会総会において答申される予定です。

詳細については、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080425_8.html>を参照してください。



編集後記

GWは皆様いかがお過ごしになりましたか？行楽地に行かれた方、近場で済まされた方、帰郷された方などいろいろあったとは思いますが、それぞれ有意義に過ごされたことと思います。

私はといいますと、どこにもいく行くあてはなく、仕方がないため、我が家の猫の相手をしておりました。有意義だったかどうかは別として、日頃からあまりかまってやっていませんでしたので、丁度いい機会となりました。おかげ様で、いままで女房にしかついていかなかった猫が、私にもだいぶなついてきたようです。これまでは無視していたのか、気を使っていたのか分かりませんが、かまってやるとそれなりに擦り寄ってきたりもします。猫も猫なりに人の顔色を見ながら行動しているようです。

(N.K.)